

2026 年 2 月 25 日

「人的資本経営品質」に選定されたことについて

めぶきフィナンシャルグループ（社長 秋野 哲也）および常陽銀行（頭取 秋野 哲也）と足利銀行（頭取 清水 和幸）は、企業価値向上のための最も重要な経営資源は「人材」であるとの考え方のもと、人材育成や社内環境整備に取り組んでおります。

このたび、「人的資本調査 2025」※において、優れた人的資本経営を実践する企業として、3 社とも「人的資本経営品質」に選定されました。

めぶきフィナンシャルグループ各社は、今後も地域やお客さまの多様化するニーズにお応えできるよう、新たな価値を創造する人材の育成・強化に取り組み、人的資本の充実に努めてまいります。

〈めぶきフィナンシャルグループにおける人的資本経営〉

当社グループでは、第 4 次中期経営計画における基本戦略の一つに「経営基盤強靱化戦略」を掲げ、人的資本やD E & I 推進の強化およびリスクマネジメントの高度化に取り組んでおります。

今回の選定にあたっては、「人的資本のリスクと機会の分析と戦略の立案」の項目が評価されました。



人的資本経営品質 2025

※「人的資本調査 2025」

人的資本調査は、一般社団法人HRテクノロジーコンソーシアム・HR総研(ProFuture 株式会社)・一般社団法人人的資本と企業価値向上研究会が共同で、上場・非上場企業を含むすべての企業・団体を対象に、人的資本経営と開示に関する取り組み状況を調査し表彰するものです。

本調査では、「全社的な人的資本経営の体制」、「リスクと機会の分析と戦略の立案」、「人的資本投資の実行」、「データドリブンなP D C Aサイクル」、「ステークホルダー開示と対話」の5つの領域において取り組み状況を評価しており、優れた取り組みを行っていると認められる企業を「人的資本経営品質 2025」として表彰しています。なお、本調査は2025年9月10日～12月8日に行われ、160社が回答しました。詳しくは、[人的資本調査 2025 ウェブサイト](#)をご参照ください。

以 上